

群馬県大学図書館協議会 会報 第11号

発行 2004年2月27日
 編集 群馬県大学図書館協議会
 「会報」編集委員会
 前橋市荒牧町4-2
 (群馬大学附属図書館内)
 ☎ 027-220-7169

平成15年度大学図書館研究会

共催 群馬県図書館協会

テーマ「大学図書館の広報について」

平成15年度大学図書館研究会が群馬県図書館協会の共催により、9月26日（金）高崎商科大学で開催され、群馬県大学図書館協議会加盟館の16館28名が参加しました。

研究会は、中村喜美郎協議会会長、石居正雄高崎商科大学メディアセンター長の開会の挨拶に続いて講師の仁上幸治氏（早稲田大学図書館）の紹介がありました。

講演は、「広報イメージ戦略と新しい図書館員像～専門的指導サービスをどう印象づけるか」をテーマに、ビデオを使ってテレビドラマに登場した図書館員を紹介し、世間一般で思われるがちな暗くて堅い図書館員像をいかにイメージアップするか、その必要性と戦略は何か、といった内容が熱く語られました。休憩の後、講演の内容を基に、講師並びに協議会会長を交え自由討議が行われました。参加者から各館で抱えている問題点などの現状が報告され、講師

と参加者の意見交換も活発に行われ有意義な研究会となりました。

研究会終了後、高崎商科大学図書館を見学し、会場館の設営した懇親会には講師の仁上幸治氏を交えて意見を交換しました。

研究会の「参加者からの声」及び「事前アンケート結果」を掲載いたします。



参加者からの声

大学図書館研究会に参加して

関東学園大学松平記念図書館
司書 花田 美華子

前々から興味はありつつもなかなか仕事としてなかなかうまくできない、どうすればいいのだろう、と頭を悩ませていた広報についての研究会ということで今回参加しました。実際仁上講師のお話を聞いて、それまでのイメージよりもっともっと身近なことなのではと強く感じました。それまで、広報に対しては、研究会のテーマである“戦略”という考え方より“お知らせ”というイメージが強くあり、どう知らせるか、みてないだろうけど見てもらうため

にはどうするか、この部分に考えをめぐらせていました自分がいました。今回、お話を聞きつつ、確かにそうだよな、と何度も思つたかわかりません。広報はお知らせなどものを作るというよりイメージを作る、図書館という場所がどのような場所か、もっと活用すれば便利だというイメージを作るということなのかと思いました。

以前母校の高校の司書教諭の先生と話していたときに出でてきた、「授業で行きなさいと言わなえればたぶん行かない」「先生が行くように仕向けないとあまり変化はないかも」という言葉がふと思いつきました。「図書館の達人」ビデオでも出てきましたが、やはり先生方の存在の大きさを再確しました。

また、先生の存在と同時に、イメージ作りの一要素として出てきた、サービスを行っているとこの司書

の姿という点も、今回お話を聞いて、そうだよなと気づかされました。カウンターで学生の動きや対応を見ていると、一度来てレファレンスをした学生はまた来るけれども、声をかけたりしまければ、来ないしイメージもつかない、実際にコミュニケーションを取ることでお互いにいろいろ分かるからな、とあたりまえのこと気に付きました。誰がイメージを作るのか、何かイメージを作り利用を促すのか、それについてを聞きながら、広報というもののイメージが少しづつ身近なものに感じられるようになりました。今回お話を聞きながら、広報というもののイメージが少しづつ身近なものに感じられるようになりました。今回お話を聞けたことで、少しづつ、自分なりに、広報について取り組んでいこうかと考えています。

始めることが大切

高崎健康福祉大学図書館
司書 謙佐 智恵

今年度の研究会テーマ「図書館の広報について」といえば、予算がない、人員が足りない、どのようにしたらいいのか分からぬ等、「改善しなければ」「力を入れなければ」と思いつつも理由をつけては後回しにしてきた課題でした。基調講演では、仁上先生から大変興味深いお話を聞くことができました。スライドを用い、ときにユーモアを交えながら、世間一般からは図書館がどのようなイメージを持たれて、それをどのように改善していくべきか。そして、期待される図書館像・司書像を分かりやすくお話いただき、リラックスした雰囲気で自由討議をすることができました。なかでも印象に残っている言葉が「小さい図書館には小さいなりのメリットがある。大きな組織より、フットワークが軽いはず。自分さえ決断すれば変わっていく可能性が高いのではないか」というものです。

他大学の皆さんとの取り組みや、問題点等も聞くことができ、手を挙げているばかりではなく、掲示のひとつとっても、小さなことからでも変えてみると、始めることが大切なだと感じました。

日々の業務と改善対策

群馬パース学園短期大学図書館
司書 三村 沙矢香

「とにかく本が少ない」「図書館員に愛想がない」「図書館に利用価値がない」・・・
これは図書館アンケートに寄せられた学生の声で

す。この不満を解消すべく、日夜奔走している私の前に立ちはだかるのは「予算がない」「相談相手がない」「大学当局と意見が食い違う」の壁。色々戦略を考えても空回りする日々でしたが、仁上講師の適格なアドバイスにより思考の方向が変化しました。教員・学生・大学当局は図書館に興味がないのではなく、わからないから踏み込まないのでありその原因は図書館が情報発信をしていないからだと思えるようになりました。そして自分は1人ではなく、脈々と続く図書館ネットワークの一端にいることも気付かされ心強く感じました。

利用者の満足度を上げ、いつかは他館に有益な情報を発信できるような図書館に成長していきたいという目標を持ち日々の業務と改善対策に立ち向かっています。仁上講師をはじめ、前進の糸口と活力を与えて下さる協議会加盟館に深く御礼申し上げます。

図書館のイメージを変える

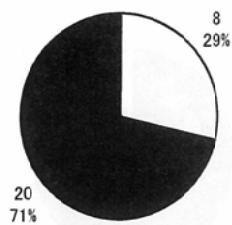
明和学園短期大学図書館
関口 富江

図書館の4大要素として資料・施設・職員・利用者がある。今回この中の職員と利用者を中心に研究会が行われた。図書館員像の今と昔の違いは、世間が描いているテレビドラマ等でのイメージとだいぶ違って見えた。私たちはあの様に印象づけられているのだろうか。「新・図書館の達人」第4巻のビデオの中の司書は現代的な美人で素敵な女性。昔のイメージとは、かけはなれていてもさわやな感じだった。司書というとメガネをかけた真面目そうな固い・暗い感じを受けている人が多いと思う。私はどんな印象の司書なのか。利用者にとって的確な指導が出来ている。自分に置き換えて考えて見た。改めて反省しなければならない点が幾つか出て来た。研究会に参加してから私自身とても司書という仕事を考えるようになり、最近では利用者たちへ優しく声をかけ笑顔で話す事に努力するようになった。学生たちも心なしか緊張がとけて質問しやすくなっている気がする。

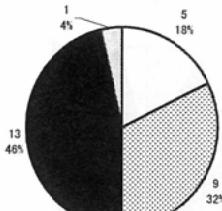
なお、自由討議では、図書館の利用を増やすための戦略を仁上幸治氏より説明して頂いた。利用者への図書館に対するアンケートやオリエンテーションを面白くする。図書館のイメージを変える。また、教員との連携による図書館のリザーブ図書についても、この研究会はとても参考になった。これから図書館活動に活かし、イメージチェンジに努めていきたい。

＜平成15年度大学図書館研究会＞(2003.9.26)
大学図書館の広報に関するアンケート（参加者）結果グラフ

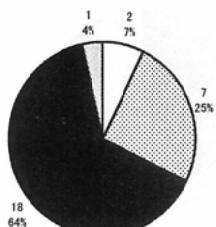
1. 「図書館広報実践ハンドブック」をお持ちですか？

上段: 人数
下段: パーセント

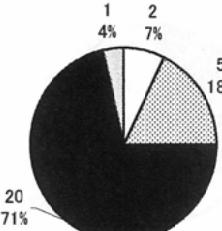
5. 「図書館の達人(ビデオ全6巻)」をご覧になりましたか？

口 はい
口 一部見た
■ いいえ
口 無回答

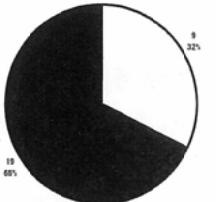
2. 「図書館広報実践ハンドブック」をお読みになりましたか？

上段: 人数
下段: パーセント

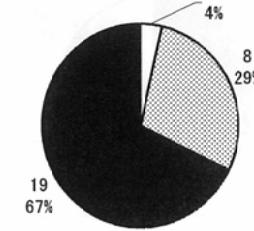
6. 「図書館の達人(司書実務編:ビデオ全6巻)」をご覧になりましたか？

口 はい
口 一部見た
■ いいえ
口 無回答

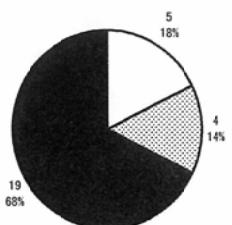
3. 「図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)」をお持ちですか？

上段: 人数
下段: パーセント

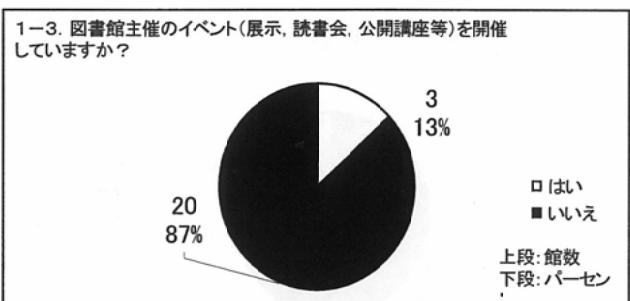
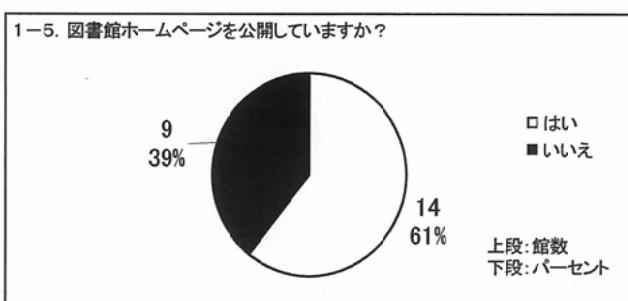
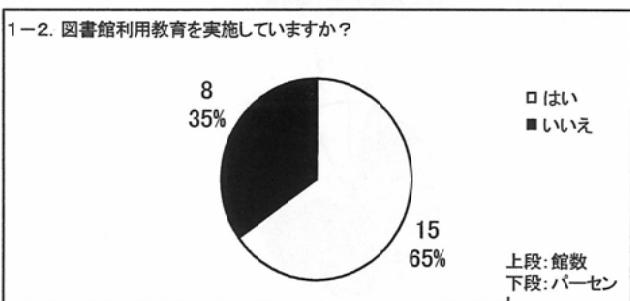
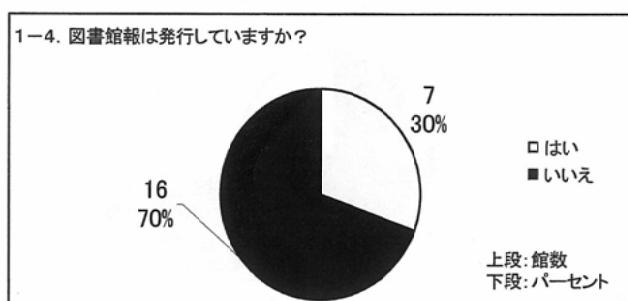
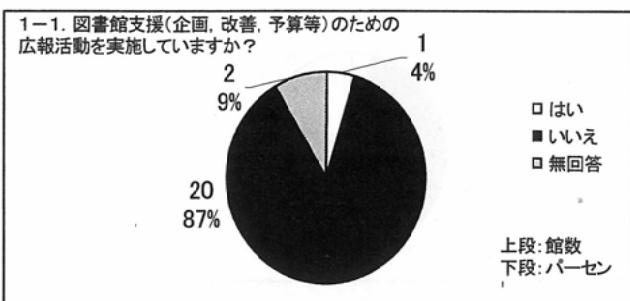
7. 「新・図書館の達人(ビデオ全6巻)」をご覧になりましたか？

口 はい
口 一部見た
■ いいえ

4. 「図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)」をお読みになりましたか？

上段: 人数
下段: パーセント

<平成15年度大学図書館研究会>(2003.9.26)

大学図書館の広報に関するアンケート(図書館)結果グラフ**平成15年度総会の開催**

平成15年度群馬県大学図書館協議会総会が3月4日(木)桐生短期大学において開催されます。この総会には17館、23人の出席が予定されています。

内容は、平成15年度の活動状況並びに決算報告、平成16年度の事業計画並びに予算案について、事業については、各種会議・委員会及び研究会等の開催予定、大学図書館研究会の開催場所・内容について、新年度の協議会役員・委員会委員の選出などが協議される予定です。

加盟館トピックス

中心資料を活かした地域サービス

育英短期大学図書館

主任司書 山田 愛子

大学・短期大学図書館の地域開放が進められている中、当館でも地域サービスのあり方を検討してきました。その結果、当館の所蔵資料の中心である幼児教育分野の資料を活用していただけたらと、平成15年6月より、群馬県内の幼稚園・保育園・福祉施設等の教職員の方々、及び教育・子育て支援に関わる方々へ、当館を開放致しました。

利用者登録されている方は、まだまだわずかですが、皆さん幼児・初等教育関連の資料を必要とされているかたばかりですので、公共図書館で手にできなかつ他資料があると好評をいただき、継続して、ご利用いただいています。

また、図書館側が提供するばかりでなく、不足している資料に気付かれるなど、良い刺激にもなっています。

利用時間は9時～18時30分。

閲覧・貸出・レファレンスをはじめ、当館が学内に行っている全サービスを提供しています。

県民への貸出を始める

平成16年4月から

群馬県立女子大学

昭和55年に創立され、国文学、英文学、美学美術史史学科を擁する本学では、平成6年度より附属図書館の県民開放規定を設け、県民の資料閲覧が可能となった。

本年度からは、高崎経済大学、前橋工科大学との「県内公立3大学連携事業」を推進しており、両大学附属図書館が県民への貸出を実施しているため、本学附属図書館も同様のサービスができるよう、県民への図書貸し出しの実施を検討するところとなつた。

本年1月に開催された附属図書館運営委員会にて同事業案を協議したところ、「県民のための開かれた大学」として、一層の附属図書館開放を目指し、16年4月から県民への図書貸出を始めることが決議された。現在、附属図書館の県民利用は毎年50名前後で、大半を教育関係者・公務員、40代、前橋市在住者が占めており、研究目的の利用が多いが、県民への図書貸出を始めるにあたりより多く、より広い利用を期待したい。

なお、県民が利用できる冊数は4冊、利用期間は2週間と定めた。(延長はできない。)

群馬大学附属図書館の日曜開館について

群馬大学附属図書館

群馬大学附属図書館（中村喜美郎館長）では、新年度から本館（前橋市荒牧町）の日曜開館を実施します。今回の措置は、学生の要望に応えるだけでなく、国立大学の法人化を機に、地域に開かれた大学の実現の第一歩として、日曜日を開館することによって、社会人などの一般市民が利用しやすい環境を提供し、多様化する地域社会の学習機会を支援しようというものです。

対象となる日曜日は授業期間中の日曜日で4月11日から開始します。

開館時間は9：00～17：00です。

これに伴い当日の閲覧や複写の利用については、記名程度の簡単な手続きで利用できます。

利用方法等詳細は資料運用係（027-220-7180）

（libcirc@lib.gunma-u.ac.jp）へお問い合わせください。

なお、ホームページ（<http://www.lib.gunma-u.ac.jp>）での日曜開館のご案内は3月下旬を予定しています。

市民に開かれた図書館

上武大学附属図書館長

磯 和男

上武大学附属図書館では今年4月、新町キャンパス内に看護学部が開設されるのに合わせて、「市民に開かれた図書館」というコンセプトを前面に立て、図書館ホームページを一新いたしました。

最近は企業も少子高齢化によって、年功序列型の雇用システムが崩れ始め、また国際的な競争環境の激化によって、成果主義の導入が声高に言われています。よく知られているように、今まで日本企業の人材育成は、長期的な視野に立ってなされていたという利点があったのですが、背に腹はかえられず、すぐ業績に結びつく目先の結果を追い求めるようになったのは、デフレの中で、それだけ日本企業がゆとりをなくしてしまったのでしょう。大学でも「キャリア・デザイン」といった就職対策関連メニューばかりが目を引くようになってきました。人生これマラソンというのではなく、二百メートル障害競走といった趣です。

日本郵船では、大変革期の中だからこそ、幅広い視野と洞察力をもった人材の育成が重要という哲学から、社員教育の一環として、社員を対象に「人間塾」という業務とは直接関係のない学びの場を設けていると聞きましたが、今もあるのでしょうか。遠くを見る「視力」が衰弱してくると、かって間近な問題の解決もできなくなるのは、自動車の運転でもあまり近くに焦点を合わせていると、たえずハンドルを切るようになり蛇行するのと同じことです。昔の人はいいことを言いました。「忙しい」とは心が亡ぶと書きますが、亡中閑あり、長い将来を見据えた自己研鑽を企業に期待したいものです。

幸い上武大学は、伊勢崎キャンパスにはビジネス情報学部、新町キャンパスには経営情報学部が設置されており、経営・経済・金融・会計・情報等に関する書籍や雑誌類は、特に充実しております。毎日、実務の中で忙しく働く働いている企業人の方も、特には大学の図書館の静かな環境の中で読書に親しみ、くつろぎながら日本経済のあるべき戦略に思いめぐらすのも、価値あることではないでしょうか。

新町キャンパスに新しく開設される看護学部は、看護のるべき姿、すなわち「みとりの心」を持つ、クオリティの高い看護を提供できる能力を身につけた、実践的な人材の育成を目的としております。その目的を支援するため、附属図書館も看護に関する書籍、雑誌などを広く整えております。現在、看護師の職にある人の自己研鑽にも役に立てばと考えております。

会議報告

第1回群馬県図書館協会あり方検討委員会

日 時： 平成15年12月4日（木）

13:00～14:30

場 所： 群馬県立図書館研究会

出席者： 橋本副館長（高崎健康福祉大学図書館）
高林係長（群馬大学附属図書館）

議 事：

1 県図書館協会のあり方検討委員会設置の経緯

2 県図書館協会の組織

3 他県の状況

4 協議

①協会の組織のあり方について

②事業の内容について

③会議のもち方について

この協議事項は、平成13年3月に提案があり検討委員会で検討することになっていた経緯が報告されました。また、協議では「あり方」を検討するため加盟館にアンケートを実施（平成16年2月）することにした。

加盟館めぐり



群馬社会福祉大学図書館

図書館の概要

<沿革>

1996年4月1日、群馬社会福祉短期大学開学と同時に開館。2002年、群馬社会福祉大学を開学し、現在に至る。

<施設>

面積：362.97m² 座席：103席

（閲覧・読書席・視聴覚ブース）

<資料の主な分野>

社会福祉、介護福祉、保育、心理学関係、教育、障害者福祉、老人福祉など

<案内>

1996年4月1日に開館。キャンパスは、前橋市川曲町に大学・短期大学部があり、田園に囲まれた緑豊かな場所である。

図書館は、大学・短大の併用。利用者の利用頻度は高く、前後期の試験時や卒論作成の時期には図書の貸し出しが増加する。視聴覚資料も充実し、福祉系大学にふさわしい図書館を目指している。

<蔵書冊数及び視聴覚資料所蔵数>

図書：24,000冊（和書：22,483冊、洋書：1,517冊）

雑誌：49種（和雑誌：39種、洋雑誌：10種）

視聴覚資料：

ビデオ620、DVD27、CD125

合計772

<終わりに>

本大学がスタートして2年目を迎えていた。図書の充実や利用者への対応に力を入れ、福祉系大学にふさわしい図書館運営を目指し努力を傾注している。

空の風通信

通 学 路

東洋大学附属図書館板倉分館

船 津 薫

都心から東武日光線・板倉東洋大前駅まで僅か1時間足らずのここ板倉町。群馬県の最東南端にあり、埼玉県と栃木県に県境を接している。町の北側に渡良瀬川が、南側に利根川が流れ、豊富な水と肥沃な土地と群馬県下で最も温暖な気候で、水田・畑の多い農業を中心に発展してきた町である。近年はニュータウンを整備し、自然や文化、都市機能を両立させた、緑・学・遊・住がバランスよく調和した暮らしやすい田園都市を目指している。

駅前広場とふれあい通り

駅ホームから階段を上がり改札口を抜けると東口方面は渡良瀬遊水地（栃木、群馬、埼玉、茨城4県の県境にまたがる国内最大級の遊水地）、西口方面はニュータウン販売センター・東洋大学の案内がある。

西口方面の階段を下りると駅前ロータリーが広がる。ロータリーの中央には大理石製の「希望の橋」というアーチがクロスした形のオブジェがある。

ロータリー周辺の駅前広場や駅前からキャンパスに向かう「ふれあい通り」（全幅40m）の車道の両側には自然石とレンガを組み合わせて敷き詰めた広い歩道がある。

駅前広場には、ロータリーを囲む形で四方に「櫻」の大木が4本植えられている。また、車道の両側には高木の「楠木」と低木の「大杯(サツキ)」「満天星(ドウダンツツジ)」が街路樹としてバランスよく植え込まれている。

「ふれあい通り」沿いの歩道には、所々にベンチが設置され、その周辺には「櫻」「沈丁花」「木犀」「蜜柑」「花梨」「姫林檎」など四季が楽しめる植栽

が施されている。また、花壇が数箇所設置され、「パンジー」など季節の草花が植えられている。

駅前から板倉キャンパスへ

右手に大型ショッピングセンターを見ながら大学に向かう。駅周辺の商業用地分譲はまだ全てが完了した訳ではなく空地も目立つ。歩道を歩いて最初に目に付くものは、青銅製の裸像である。右側には男子の裸像「考」、左側には女性の裸像「康」がある。

さらに進むと最初の交差点があり、右手前角には「銀行」。道路をはさんだ右角には「交番」。その左角には、夢わたらせる都市くまち板倉ニュータウンの「板倉ニュータウン販売センター」がある。

美味しいケーキ屋さんや・・・・

商業用地未分譲の空地には、秋の涼しさを感じる頃となると「コスモス」の花が風に揺れる。そんなコスモス畑を右手に見ながら進むと、焼きたてショートクリームと手作りケーキがおいしい「ケーキ屋さん」。その隣には、学生・教職員にとってなくてはならない「コンビニエンスストア」がある。

さらに、地元の「信用金庫」。本学の校医でもある「内科クリニック」。処方箋も取り扱う「薬局」。現在は閉店中の「美容院」。1階が「不動産屋」2階が「学習塾」のビルと並ぶ。

そして、この通りには珍しい3階建ての「店舗ビル」があるが、現在は空きビルとなっている。隣には、1階がおつまみの品数が多い「居酒屋」と「携帯電話ショップ」2階がラーメン・カレー専門の「食堂」のビル。さらに、洋食を中心の「レストラン」へと続く。その先、2番目の交差点を渡ると角には、地鶏が看板の飲食い処の「居酒屋」がある。

ふれあい公園

これら飲食店などが並ぶ歩道と「ふれあい通り」をはさんだ左側には広大な「ふれあい公園」がある。この公園には、「夢ファームいたくら」があり、農産物直売所や市民農園、ハーブガーデンなどの管理を行っている。また、公園内には「上池」と「下池」という池があり、その池をまたぐようにお洒落な斜張橋「かたらい橋」が架かっている。上池の水辺には「ウォーターステージ」と呼ばれる外野ステージも備えている。その他には「やすらぎ広場」「フラワーガーデン」「水辺の広場」などがあり、水とみどりとお花がいっぱいの盛りたくさんある公園である。

農家と新しい住民の共存

公園を左手に見て交差点を渡ると、左右両側に細長く宅地分譲地が広がり、ほとんど販売が終わり、

きれいな住宅地となっている。

住宅地を左右に見ながらしばらく歩くと3番目の交差点となる。ここを渡ると左右両側に細長く、水田・畑・ビニールハウスなど、昔からの農村地域が広がる。板倉町は、耕地の9割が水田である。きゅうり、米・なす・花卉などが特産品で、きゅうりは全国トップを争う出荷量を誇っている。現在は、施設野菜産地の新たな飛躍と、高生産性水田農業の確立を推進している。

この農村地域を過ぎると、その先の右手には、ふたたび住宅分譲地が広がる。こちらは販売が始まつてまもなく、建築中の建物が多い。

東洋大学板倉キャンパス

この宅地分譲地とふれあい通りをはさんだ左側には、敷地10万坪のキャンパスが大きな遊水地を抱えるように広がる。正門を入ると樺並木が校舎をめざして奥に長くのびる。左右に芝やクローバーの広場が広がる。東洋大学板倉キャンパスである。平成9年4月に開校。現在国際地域学部・生命科学部の2学部があり、附属図書館や公開講座の開放など、地域との共生を目指している。

ふれあいの通学路

東武日光線・板倉東洋駅からゆっくりと歩いて10分の「通学路」いかがでしたか。多くの新住民と町のシンボルとなる東洋大学、駅を中心としたニュータウンは、広々とした公園やコミュニティースペースを憩いの広場として人々が集まる、みんなの笑顔が似合う街です。

「光と水とふれあいの学園都市」板倉ニュータウン・東洋大学板倉キャンパスに是非お立ち寄りください。

「10周年記念誌」の編集

本協議会が平成6年に発足して、今年創立10周年を迎えました。10周年記念誌編集委員会が昨年4月の幹事館会議で承認され組織されました。

昨年6月20日の第1回編集委員会で、編集方針は本協議会の10年の活動を記録することで、記録資料の収集、原稿依頼などから準備を開始し、今年2月中旬には校正、印刷に入りました。

群馬県大学図書館協議会 10周年記念誌

記念誌はA4サイズ、本文は41ページで、構成は次のようにになっています。

「協議会創設10周年に寄せて」 中村協議会長

群馬県大学図書館協議会年表

協議会活動（報道記事・写真）

会議（設立準備会・総会・研究会）

刊行物（会報・からつ風通信・相互協力便覧）

回想 元群馬県大学図書館協議会 永倉会長

桐生短期大学図書館 杉原館長

群馬パース学園短期大学図書館 内藤館長

高崎健康福祉大学図書館

短期大学部 橋本分館長

加盟館紹介 27館

群馬県大学図書館協議会規約

歴代役員館

発行部数は70部、3月4日の総会で配布を予定しています。

群馬県大学図書館協議会会員名簿

育英短期大学図書館

群馬松嶺福祉短期大学図書館

高崎健康福祉大学図書館

関東学園大学松平記念図書館

群馬大学附属図書館

高崎健康福祉大学短期大学部分館

関東短期大学松平記念図書館

群馬大学附属図書館 医学分館

高崎商科大学図書館

桐生短期大学図書館

群馬大学附属図書館 工学部分館

東京福祉大学附属茶屋四郎次郎記念図書館

共愛学園前橋国際大学図書館

群馬パース学園短期大学図書館

東洋大学附属図書館板倉分館

群馬県立医療短期大学図書館

上武大学附属図書館

新島学園女子短期大学図書館

群馬県立女子大学附属図書館

上武大学附属図書館 分館

放送大学群馬学習センター図書室

群馬工業高等専門学校図書館

高崎経済大学附属図書館

前橋工科大学附属図書館

群馬社会福祉大学図書館

高崎芸術短期大学図書館

明和学園短期大学図書館

編集後記 年度末のお忙しい中、原稿をお寄せいただきありがとうございました。

編集委員 高橋昭夫(群馬大学) 倉林 邦男(前橋工科大学) 小野里 喜一(明和学園短期大学)